



1. 概要

本図面は、PC-9821 が標準で搭載している FD1231T または FD1238T を取り外し、PC/AT 互換機用 FDD を接続する際に FDD に対して改修を行う図面である。

PC-9821 Ls12/D10 への接続は、別途「FDDインターフェイス変換基板回路図」と合わせて改造を行うこと。

2. 材料

Z1DA-89A (コントロールチップに 61828 を搭載した個体)

3. 改造内容

- A. 1、33 番ピンが GND へ接続されているので、「JP6」の 0ohm の抵抗、「JP3」のハンダを撤去する。
- B. 34 番ピンがコントロールチップの Disk Change へ接続されているので、「JP2」のハンダを撤去する。
- C. ドライブ番号を DX1 から DX0 とする必要がある場合に限り、「JP10」のハンダを撤去し「JP11」をショートする。
- D. 1 番ピンとコントロールチップの Mode Select を接続する為に「R41」をショートする。
- E. 2 番ピンとコントロールチップの Density を接続する為に「JP7」をショートする。
- F. 33 番ピンへ Disk Change を供給する為に、「JP8」のコントロールチップ側と「JP4」の端子側を接続する。
ただし、「FDDインターフェイス変換基板回路図」を用いて FD1238T 搭載機に接続する場合は接続しない。
- G. 34 番ピンとコントロールチップの Ready を接続する為に「JP1」へ 0ohm の抵抗を新設する。

4. 特記事項

- A. 改造した FDD と PC-9821 を接続する際は、端子のピンアサインに注意すること。
- B. 1 番ピンへ 360/300 信号を入力する時は、74HC14 などを用いて信号を反転させること。

工事名称 PC-9821 PC/AT 互換機用 FDD 接続計画	工事 設計図	1
図面名称 Z1DA-89A 改修図	縮尺 N / S	1
試運転の資料館 Library of Shiunten		